団体名	朗読うぃっしゅ
活動テーマ	「命」の大切さを伝えたい

２００５年４月２５日、「朗読うぃっしゅ」の五十嵐が JR 福知山線脱線事故に遭遇しました。当時、五十嵐は何も救助活動などを手伝わず、その場を逃げ出した後悔をせめてこの事故を風化させないように語りつぎたいと、これまで行ってきた仕事(アナウンス業)を活かせる活動・・・事故の語り部と失われていく「命」の大切さを伝える事が出来る「朗読劇」のイベントを企画しました。これまでは、小学校、中学校、高校、集会などお呼びいただいた所にでむいての活動でしたが、今回も貴社から援助を頂き、自主公演という形でイベントを開催させていた頂く事ができました。

１度目は東京、西栄寺東京別院にて。西栄寺の１周年のイベントの第一部で公演いたしました。念願の東京公演。これをきっかけに、関西圏だけでなく、東日本にも出向き、阪神大震災体験者としても、東日本大震災で被災した皆様にも改めて、「命の大切さを伝える」朗読を聞いていただきたいと願っています。ご近所の皆様はじめ、約５０名の方が参加。今後の関東にての活動も希望してくださいました。

２度目は神戸市灘区、クレリ灘ホールにて、公演いたしました。五十嵐の事故の体験談と朗読劇「火垂るの墓」。生演奏をバックにした「命」がテーマの朗読劇です。朗読劇の舞台がまさに地元、神戸であることから、皆様に感動を十分お届けできたのではないかと思っています。

どちらもおかげ様で大盛況のうちに無事開催を果たす事ができました。その後も学校などからオファーがかかり、又クレリやユネスコなどからも今後のご依頼のお声をかけていただいております。今後もご要望がある限り活動を続けるとともに、機会があれば、又、自主公演も行いたいと願っております。